



(1) OK バジからの便り

新年になってから OK バジより届いた手紙をご紹介します。

皆さまどんな新年を迎えられたでしょうか。お元気ですか。今日は少々遅くなってしまったお知らせです。

ブッシュルダータ校は、現在生徒数 318 名になり、タンセンにある教育庁も何故何故とその理由、原因に興味を持ち、“いきいき草の根”の皆さんの継続的な大きな支援がその源と理解しているとのこと。それに先生がた全員の努力もあったことも認めているとのこと。乗りかかった船、私もあと一息、あと一息と皆さまにお叱りを受けるのを覚悟しながら、ここまで我儘を通してしまったような気がして、“いきいき”の皆さんの中にもちょっと待てとおっしゃっている方がたもいるかもしれません。

生徒が 12 人に減り、廃校寸前になった公立をここまでにできたのは、父兄が自分の子弟を送ってもこれなら安心と思えたからです。しっかりした建物、充実した設備はほとんど日本からの支援です。その他は、政府ももちろんですが、元ユニテッド・ミッション・ホスピタルのディレクター DIGBY 氏も支援を続けています。内部の教育内容については、自分達の努力、そして県教育庁からの指導もあり、父兄が信じるに値するものをもっています。

2016 年に初めて挑戦する SLC (School Leaving Certification—小学 5 年、中学 3 年、高校 2 年の 10 学年終了時に全国一斉に実施される中等教育終了資格：編集部注) 試験の受験結果が満足できるものであれば、さらに生徒数を増やすことができると先生がたは日々努力しています。今日のお礼とお知らせは、写真にありますように既存の建物に並べてさらに 4 教室を新築することになり、いきいきの 2014 年度に支援いただいた分のうち 100 万ルピー (約 120 万円) をこの予算の一部に充てさせていただきました。これにタンセン市庁から 50 万ルピー、自分達、主に父兄からの寄附 50 万ルピーも加え、将来 11、12 年生のためにも今しっかりした建物を建てることにいたしました。



鍬入れ式は私の手でさせていただきました。神様にどうぞ事故なく工事ができますようにと

お願いした後、“いきいき”の皆さんの顔をできるだけたくさん思い浮かべながら手を合わせ続けました。ご協力ありがとうございました。皆さんが来られる時は工事中です。団長がどなたかわかりませんが、柔らかな笑みで励ましてやって下さい。

では、元気でおいで下さい。タンセンでお待ちしています。 ごきげんよう。

皆さまお元気ですか。いよいよ3月のツアーが決まり、参加される皆さんはなんとなくワクワクしておられることでしょう。私もワクワクしています。

今日は小さなお知らせ、大きなお礼です。今年最大のプロジェクト、ブシュルダーダ校の4教室の工事が本格的に始まっています。皆さんが来られて見ていただくこと学校側は大歓迎です。ほとんど、どこの国際NGO・NPOも、本国（寄附側）から視察に来ることはめったにありません。その点皆さんはご自分の目でご覧になり、しかも村に泊まって村びとたちと交流してくれています。しかもたっぷりと酔い合っ。これで村びとたちは、この人たちは俺たちの仲間！と嬉しくなるようです、今度来られる方は少々酒のたしなみは？

冬休みも終わり、いよいよ本格的な工事に入ります。楽しみにして下さい。 2015.1.30

(2) タイ「ひよこホーム」からの便り

ひよこホームの寮母ヤティーさんからひらがな文字の手書きの手紙が届きました。以下一部漢字に直してご紹介いたします。

こんにちは、私はタイひよこホームのYATIです。うれしいです。皆さんに手紙を書くことができ。皆さんお元気ですか？お陰さまで寮の子どもたちは皆元気で生活しています、今、子どもたちは皆試験を受けるため頑張っ勉強しています。夏休みは3月12日から5月12日までです。だいたいその休みの間は、子どもたちは皆山に帰ります。

あっという間に1年が経ちました。皆さんご支援をありがとうございます。日本の多くの方がたからのご支援で山の子どもたちはこんな所で生活し、勉強することができました。もし、日本からの支援がなかったら、このひよこホームを続けることは難しいです。今年もよろしく願いいたします。

今かかえている問題は、ホームで使っている電気の問題です。20年前に買った変電器はパワーが少なかったです。当時は、建物が少なかったから問題がありませんでした。でも、最近建物が増えて、そのパワーではちょっと心配です。できれば、いろいろ問題が起きないうちに変電器のパワーが大きいものに替えたいと思っています。調べたら大体40千パーツ（約145千円）かかります。これは今必要なものです。

2015.2.9



ある日のホーム夕食（春雨の煮物）
一朝・昼食は炒め物中心

《編集後記》今月号は、支援先からの便りの特集となってしまいましたが、現状の一部が読みとれたのではないかと存じます。

1月31日に亡くなられたワイツゼッカー元ドイツ大統領が、ドイツ敗戦40周年（1985年）の時に連邦議会で行った演説の中で、新聞等で引用されることが少ない部分ですが、年長者の若者に対する歴史の引継ぎ方について、「年長者は若者に対し、夢を実現する義務は負っていません。われわれの義務は率直さです。心に刻みつけるといことが極めて重要なのは何故か、このことを若い人びとが理解できるよう手助けせねばならないのです。・・・歴史の真実を冷静かつ公平に見つめることのできるよう・・・人間は何をしかねないのかーこれをわれわれは自らの歴史から学びます。」と述べられています。私のような戦争体験のない年長世代こそ、歴史に率直に向き合うことの大事さを若い世代に伝える義務を負っているのだと改めて思いました。（編集担当：KT）

草青む歩よりもこころ遠く行き 森 澄雄

認定NPO法人 いきいきフォーラム草の根支援

〒113-0023 東京都文京区向丘1-7-8 コミュニティ・スペースほのぼの内

TEL/FAX 03-3816-5346 E-Mail f-kusanone@tcn-catv.ne.jp

<http://www1.tcn-catv.ne.jp/ikiki-kusanone>